

# あてつまんさく

## 新見の農業情報

普及だより 2023年



備中県民局 農林水産事業部

新見農業普及指導センター

# 目 次

## 1. 担い手確保と育成

- (1) 農業経営について考えてみませんか・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 就農希望者の確保に向けた取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 新規就農者受入に向けた地域情報のデータベース化の取組み・・・・・・ 2
- (4) 千屋牛の現状と担い手育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

## 2. 技術情報

- (1) メタン発生抑制効果のある中干し期間延長の取組み・・・・・・・・・・ 3
- (2) リゾケアXLを活用した水稻湛水直播の省力性と安定生産性・・・・・・ 3
- (3) 天然型アブシシン酸（S-ABA）による「ピオーネ」の着色向上対策・・・・ 4
- (4) 夏秋トマトの品種検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (5) 「麗月」のツヤなし果対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (6) 新見オリジナルりんどうが新たに3品種加わりました・・・・・・・・・・ 6

## 3. 普及活動の紹介

- (1) 「電気柵」をベースにしたイノシシ及びニホンザル対策・・・・・・・・・・ 6
- (2) 赤いももを活用した産地PR活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (3) 6次産業化に取り組む事業者を支援しています・・・・・・・・・・ 8
- (4) 「千屋牛」育成牧場の飼養管理改善に向けた支援・・・・・・・・・・ 8

## 4. 今年輝いた人

- (1) 令和5年度 農事功績表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (2) 第56回 岡山県農林漁業功労者表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (3) 第78回 岡山県畜産共進会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (4) 第62回 岡山県枝肉共進会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (5) 令和5年度 岡山県花き共進会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (6) 令和5年度 新見市花卉共進会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (7) 令和5年度 岡山県シャインマスカット、マスカット・オブ・アレキサンドリア共進会・・ 11
- (8) 令和5年度 新見市ピオーネ共励会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (9) 令和5年度 新見市桃共励会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

### 表 紙 写 真

左 上：ピオーネ収穫調査

右 上：ラジコン草刈機実演会

左 下：『桃赤』完成

右 下：鳥獣害対策実践研修

## ■ 1. 担い手確保と育成

### (1) 農業経営について考えてみませんか

皆様の農業経営は順調ですか。問題や困り事はありませんか。

農業経営について考えるためには、経営の記録（簿記）をとり、決算書を分析し、改善計画を作成する必要があります。そのための知識や方法を学習し実践できるように、普及指導センターでは毎年ステップアップ研修会を開いています。

令和5年度は、正確な記録を残すための複式簿記の基礎からパソコンでの簿記記帳の実習と、税理士による税務管理の学習、事業継承や法人化に関する知識を学ぶ研修会を開催しました。参加者はそれぞれ必要な研修会に参加し、質問をしながら知識を深め、農業経営の改善に役立てています。

普及指導センターでは、研修会以外にも、個別対応での経営計画の作成や家族経営協定の締結の支援、税理士や中小企業診断士などの専門家派遣による無料相談を実施していますので、お気軽に相談してください。



パソコン簿記研修会

### (2) 就農希望者の確保に向けた取組み

新見地域では、コロナ禍以降、県内外の相談会等を訪れる就農希望者が減少し、その確保が大きな課題となっています。そこで、令和4年度、新見の魅力発信動画を作成してYouTubeで配信したり、地元ケーブルテレビで新規就農者募集等のCM放映に取り組みました。令和5年度は、就農相談会への参加や営農団地の入植者募集についてHPで情報発信したり、営農団地紹介動画を作成してYouTubeで配信した結果、就農相談の数は徐々に回復してきています。特に、これまでに新規就農研修制度を活用して新規参入した



生産者がオンラインで相談対応

ぶどう生産者が、県内外の就農相談会において、対面、あるいはオンラインで相談者の質問等に答える機会を設けたところ、相談者は就農や移住の実情を聞くことができ、大変好評でした。就農希望者の確保に向けては、厳しい産地間競争がありますが、新見地域が就農希望者に選ばれる産地となるよう、これからも生産組織と関係機関が連携して、産地の優位性や地域の魅力を売り込んでいきます。



【YouTube】新見市就農情報チャンネル

### (3) 新規就農者受入に向けた地域情報のデータベース化の取組み

「令和3年度 新規就農者の就農実態に関する調査結果」（出展：一般社団法人全国農業会議所、全国新規就農相談センター）では、就農10年以内の新規参入者が就農時に苦労した点の上位4つは、1：農地の確保、2：資金の確保、3 営農技術習得、4：住宅の確保となっています。新見市では新規参入者向けにぶどうとトマトで営農団地の整備を行っていますが、今後の産地の維持・拡大のためには、新規参入者がさらに安心して就農・移住できる条件を整えていく必要があります、農地と住居の確保は重要なポイントになります。

そこで、普及指導センターでは、生産部会や関係機関と連携して、地域の方しか知らない農地や空き家情報を収集し、地図上で「見える化」を進めています。

令和5年度はモデル地区を選定して取り組んでいますが、今後は各生産部会の各支部と連携して情報収集を行い、市内全域で新規参入者が確保できるよう進めていきたいと考えています。農業者の方々のご協力をお願いします。



地図上で空き農地と住居について状態別に色分け

### (4) 千屋牛の現状と担い手育成

新見市の和牛飼養農家数は62戸あり、肥育牛1,553頭、繁殖牛1,042頭の他、子牛を含めて合計2,831頭です。県内でも多く飼育されている地域で、県内の和牛繁殖牛頭数の約2割を占めています。（令和5年2月岡山県調べ）

近年の飼養頭数の動向については、肥育牛の頭数は維持している一方、繁殖牛の頭数は、高齢農家の廃業により減少傾向にあります。大規模牧場の増頭で維持できています。

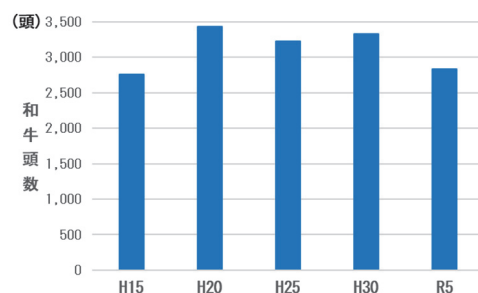
備中県民局畜産第二班は、10年ほど前から、集落営農組織に的を絞って、千屋牛振興による地域活性化を説明し、和牛繁殖経営の開始を促してきました。

レンタル牛放牧を実演したり、和牛入門講座の受講を勧めたり、単県事業で簡易な施設整備を行う等、担い手の支援をしています。また、山林が多い地形を有効活用した放牧を提案するなど省力化を取り入れた和牛経営の実践につなげています。

畜産情勢は厳しさが増していますが、安価に牛を導入できるチャンスと捉え、増頭を計画している方もおられます。和牛飼育に興味のある方は、相談いただければと思います。



新規就農者の簡易牛舎整備



頭数合計	H15	H20	H25	H30	R5
	2,761	3,428	3,222	3,332	2,831

図1 新見市の和牛頭数の推移

## ■ 2. 技術情報

### (1) メタン発生抑制効果のある中干し期間延長の取組み

水稻栽培の中干しには、無効分げつの抑制、根の活性化・伸長促進、倒伏防止などの効果に加え、水田からのメタン（温室効果ガス）の発生を減らす効果があり、中干しを通常よりも7日間延長することで、水田から発生するメタン量が3割削減されることが確認されています。しかし、過度な中干しは、稲の根が切れたり土の保水性が悪くなったりして悪影響を与える可能性もあります。そこで、中干し期間を延長したほ場（実証区）と従来の中干し期間のほ場（慣行区）の収量等を比較しました。

その結果、実証区の収量がやや少なくなりましたが、倒伏程度は軽くなりました。

表1 実証結果

区分	品種	中干し期間	倒伏程度 (1～4)	精玄米重 (kg/10a)
実証区	コシヒカリ	6.26～7.13	0	508(95)
慣行区		6.26～7.5	2	537(100)



成熟期の様子

左：実証区（倒伏程度0）

右：慣行区（倒伏程度2）

### (2) リゾケアXLを活用した水稻湛水直播の省力性と安定生産性

「水稻湛水直播栽培」とは、移植栽培で行う育苗や移植作業等を省略し、水を張った水田に直接種子を播種する技術です。春の作業を大幅に省略できるため、省力化や規模拡大の技術として利用されています。

令和4年度の鉄コーティング種子の試験では、省力化が図られ、移植栽培と同等以上の収量が得られました。しかし、苗立ちが不安定であり、生育初期に細かい水管理が必要とされ、倒伏しやすいことが課題となりました。そこで、令和5年度は酸素供給材等でコーティングした「リゾケアXL」という種子を用いて、ドローンと動力散布機で播種し、移植栽培と比較しました。

結果は、育苗が省略され、12aのほ場をドローンでは3分、動力散布機では5分33秒で播種でき、省力化を確認できました。また、移植栽培と同等以上の収量を確認できました。発芽・苗立ちは良好で、水管理も容易でしたが、倒伏の課題は解決できませんでした。「リゾケアXL」を用いても、播種の深さが倒伏に影響すると考えられました。



ドローンでの播種

### (3) 天然型アブシシン酸 (S-ABA) による「ピオーネ」の着色向上対策

近年の地球温暖化による影響で、着色期となる夏季の高温により、簡易被覆栽培のぶどうでは「ピオーネ」等の紫黒色品種の着色不良が大きな問題となっています。

その対策として、着色向上効果が優れる天然型アブシシン酸を含む新剤「アブサップ液剤」が実用化されました。そこで、新見地域での「ピオーネ」の着色等の果実品質に及ぼす効果や影響を調査しました。

登録内容 (表1) に基づき、「アブサップ液剤」100倍を着色始期に果房に散布する使用方法とし、ホルモン剤用の蓄圧式噴霧機 (FURUPLA社製) で1果房当たり5mlを目安に散布しました。



「アブサップ液剤」の散布状況

表1 アブサップ液剤の登録内容 (令和4年10月26日登録)

対象品種	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用方法	使用時期	使用回数
ピオーネ 巨峰	着色促進	100~200倍	1果房当り 2~10ml	果房散布	着色始期~着色 開始2週間後	1回



収穫果房の比較 (左: 処理区、右: 無処理区)

市内6ほ場での実証では、カラーチャート示度で平均1.2の着色向上が認められました。心配された果粉溶脱などの外観品質の低下や、果肉軟化などの影響はほとんどありませんでした (表2)。しかし、今回の実証では袋掛け後に「アブサップ液剤」を散布したため、果実袋の着脱に非常に労力がかかりました。

一定の着色向上効果があったことから、協力農家からは「来年以降も使ってみたいが、この散布方法では大面積の散布は難しい」との感想が多く聞かれました。「アブサップ液剤」を散布するまで袋掛けを遅らせる方が効率的ですが、晩腐病などの病害への感染が心配されるため、防除体系に工夫が必要となります。

今後は、新見地域の栽培実態に合わせて、晩腐病対策を強化しつつ、より簡便で効果的な散布方法について検討します。

表2 アブサップ液剤の散布が「ピオーネ」の果実品質に及ぼす影響

	果粒重 (g)	果皮色 (ピオーネ用C.C.)	糖度 (°Brix %)	食味 (1:不良~5:良)	果肉の硬さ (1:軟~5:硬)	脱粒難度 (1:易~5:難)	果粉溶脱 (0:無~4:多)
処理区	17.7	7.6	17.7	3.5	3.5	3.7	1.1
無処理区	18.2	6.4	17.4	2.9	4.1	3.9	1.2

※果皮色、果粉溶脱については6ほ場、その他の項目は3ほ場の調査結果

#### (4) 夏秋トマトの品種検討

近年、夏秋トマトでは夏季の高温による落花や裂果による収量の低下が問題となっています。新見地域では、裂果が少なく、着果性に優れた品種として「麗月」の導入を進めていますが、果実が小玉であり、気温が低下する秋期以降に果実の着色が悪く収穫できないまま栽培が終了してしまうことが生産上の大きな課題となっています。そこで、「麗月」に替わる、より産地に適した新品種について検討しました。

慣行品種として「桃太郎ワンダー」を設定し、「麗月」、「れおん」、「TTM-170」について、収量性や品種特性を比較しました。令和5年度の結果では、「桃太郎ワンダー」と比較して「れおん」は収量が多いが、9～10月に収穫された果実に裂皮が多く秀品率が低くなり、「TTM-170」は形質が良いものの一果重が小さく（表1）、収量が他の品種と比べ低い傾向となりました（図1）。

品種試験についてはまだ1年目のため、令和6年度以降も継続して比較試験を行い、新見地域に適した新品種の検討を行っていきます。

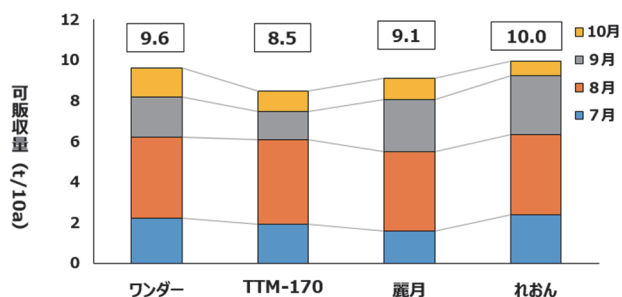


図1 品種別の月別可販収量

表1 果実品質及び裂果発生割合

品種	秀品 (%)	優品 (%)	A品 (%)	外品 (%)	小果 <sup>z</sup> 割合 (%)	裂果割合 <sup>y</sup> (%)
ワンダー	29.6	26.5	15.5	23.5	10.4	23.8
TTM-170	47.2	21.7	4.3	24.0	21.6	13.1
麗月	50.7	26.8	11.5	10.5	7.1	1.7
れおん	37.7	28.8	14.2	16.0	10.0	12.0

<sup>z</sup>100g以下の果実

<sup>y</sup>裂果程度1～3の果実を合計して算出

#### (5) 「麗月」のツヤなし果対策

ツヤのない障害果（以下、ツヤなし果）は、写真のように、果実にツヤがなく、シミのような汚れが付くことにより、果実の品質が低下し、等級が下がるため、生産上の大きな課題となっています。令和4年度行った調査で、ツヤなし果は果実内で種子がなく、トマトーン（以下、トーン）によって着果した果実がツヤなし果になるのではないかと考えられました。

そこで、対策技術を検討したところ、トーンを用いず、マルハナバチで着果させると、マルハナバチとトーンを併用した場合に比べ、ツヤなし果の発生はやや減少する結果となりました（表1）。一方、トーンを使用しないことで、一果重が小さくなる傾向が確認されました（表1）。これらのことからハチを利用する場合は、無理にトーン処理を行う必要はなく、トーンのみで着果させる場合は、遅れて開花する花や着果した果実について、確実に摘花、摘果することで、「麗月」の高品質な果実を安定生産できると考えられます。普及指導センターは今後もトマトの安定生産に向けた技術の実証を続けていきます。



ツヤなし果（左）

表1 ツヤなし果及び小果の発生数（株あたり）

処理区	一果重 (g)	小果数 <sup>z</sup>	ツヤなし果数
併用	126.7	5.4	2.8
トーンなし	115.5	8.7	0.7

<sup>z</sup>100g以下の果実

## (6) 新見オリジナルりんどうが新たに3品種加わりました。

普及指導センターではJ A晴れの国岡山新見花卉部会が育成したオリジナル品種の選抜を支援し、令和2年度の「奥の秋風」に続き、令和5年度に「奥のるり風」、「奥の波風」、「奥のそよ風」の3品種が初出荷を迎えました。

開花時期や形質に特徴のあるオリジナル新品種を加えることで長期出荷を行い、新見りんどうの安定出荷による産地の活性化を図っていきます。

「奥のるり風」	「奥の波風」	「奥のそよ風」
		
9月上中旬に開花し、濃い花色が特徴	10月上中旬に開花し、波打つ葉が特徴	10月中下旬に開花し、小ぶりの花や葉が特徴

## ■ 3. 普及活動の紹介

### (1) 「電気柵」をベースにしたイノシシ及びニホンザル対策

新見市上熊谷の潮集落では、令和4年度、イノシシとニホンザルによる水稻被害（稲穂の食害、茎葉の倒伏）を受け、収穫が皆無になったことから、令和5年度ワイヤーメッシュと「電気柵」を組み合わせた複合柵を設置し、その効果を検証しました。

水稻を移植した6月下旬から11月下旬に収穫するまで、複合柵はイノシシの侵入を完璧に防ぎました。「電気柵」は7月下旬、電圧消失によりイノシシの侵入を許しましたが、漏電箇所を修繕し、電線の位置を下げる、電線を複数列に設置する補強対策により、8月は侵入を防ぎました。しかし、9月に再侵入が見られるようになったため、防風ネット（4mm目）を「電気柵」の内側に張り巡らしたところ、イノシシの侵入を防ぎ、水稻を無事収穫することができました。

ニホンザルは集落に現れなかったため、効果は判然としませんでした。ワイヤーメッシュより安価に入手できる防風ネットを「電気柵」と組み合わせることでイノシシ被害を回避できたことから、令和6年度はこの防御方法を集落全体に普及させたいと関係者は意気込んでいます。



イノシシの侵入を防いだ防風ネットと「電気柵」



## (2) 赤いももを活用した産地PR活動

普及指導センターは令和3年度からJA晴れの国岡山阿新桃部会、JA新見アグリセンター、新見市、備中県民局と「新見赤い桃プロジェクトチーム」を結成し、新見のもも産地の発展を支援しています。

プロジェクトチームは令和4年度に引き続き、赤い桃のリキュール『桃赤(ももか)』を発売しました。もものシーズンオフ中も『桃赤』が通年で店頭販売されるようになり、新見のももの知名度向上につながることを期待されます。

また、令和5年度の活動ではリキュール製造だけでなく、産地の情報発信を意識し、部会員と関係機関が一丸となってPR活動に注力しました。これら活動の一部を紹介します。

### デジタルマーケティング研修会

6月2日、産地マーケティング強化事業を活用し、部会員や関係機関を対象としたデジタルマーケティング研修会を開催しました。

研修では(株)シンプルの前田幸一郎氏を講師に招き、情報発信の重要性について、ワークショップを交えながら学ぶことができました。

研修終了後のアンケートでは、参加した部会員の約9割が「部会でもPR活動や情報発信に取り組むべき」と回答し、高齢化が進む産地に新しい風を吹かせる研修となりました。

### プレスリリース

7月と10月、研修会の内容を参考にネットニュースを活用した情報発信に取り組みました。

民間のプレスリリース配信会社「(株)PR TIMES」を利用し、4年ぶりに開催される「草間もも直売まつり」と「『桃赤』の発売」の2回、ネットニュースをリリースしました。2回のネットニュースで7,000回を超える閲覧数や60件以上のネットニュース転載を達成し、全国の多くの消費者へ新見のももを認知してもらうきっかけになりました。



『桃赤』とプロジェクトチーム



デジタルマーケティング研修会

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスPR TIMES  
TOP | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティ | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | クルマ | スポーツ



もも直売まつりのネットニュース

### (3) 6次産業化に取り組む事業者を支援しています

普及指導センターでは、毎年、6次産業化事業者を対象に食品製造販売に関する基礎知識、HACCPによる衛生管理等の研修会を開催しています。

令和5年度は、井原市で地元産にんにくを活用している「大江まちづくり協議会」の事例研修会や、6次産業化活動の課題を抽出する研修会を開催しました。

事業者の抱えている課題は、加工施設の営業許可や衛生管理などであったため、令和6年度も研修会を通して課題解決を図ります。

また、問い合わせが多い「食品表示や栄養成分表示」「消費（賞味）期限」等については、主な検査機関の問い合わせ先を「6次産業化実践者のための加工食品製造販売マニュアル」に掲載していますので、普及指導センターのホームページでご確認ください。



事例研修会でにんにくの加工品を紹介する「大江まちづくり協議会」

普及指導センターホームページ

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/113/>



### (4) 「千屋牛」育成牧場の飼養管理改善に向けた支援

岡山県では和牛子牛の資質向上のため畜産農場の飼養管理改善指導に取り組んでいます。

新見市内の指導農場の一つに、JAが管理する育成牧場があります。この農場で農家から預託され育った子牛は別の牧場で肥育され、千屋牛となって出荷されます。

しかし、この農場は人手不足なこともあり、子牛の管理が十分でなく、発育が遅れることがありました。そこで、子牛を預託する農家、JA、飼料会社、県等の関係者が参集し、飼養・衛生管理の改善について検討しました。

検討会の中で、飼料給与方法や給与内容の変更、牛舎消毒、哺乳ボトルの洗浄・交換等を行った結果、子牛の病気が減り、発育が改善されました。また、一定の発育基準を満たした子牛が認定される「おかやま四ツ☆子牛」の認定率も向上しました。

今後も管内の肉用牛農場の改善指導を行い、千屋牛振興を図っていきます。



表1 新見市内の飼育頭数

飼育頭数	
哺育牛	24頭
育成牛	42頭
合計	66頭
預託牛率	59%

表2 JA育成牧場の四ツ☆子牛認定率

	R3	R4
雌	4.0%	20.0%
去勢	26.9%	46.2%
全体	15.7%	38.9%

## ■ 4. 今年輝いた人

※敬称は省略させていただいております。

### (1) 令和5年度農事功績表彰

◎緑白綬有功章 橋本 澄男 (神郷)

### (2) 第56回 岡山県農林漁業功労者表彰

◎岡山県農林水産部長表彰 (農産部門) 植田 正二 (豊永)  
〃 (畜産部門) 上田 稔 (哲西)

### (3) 第78回 岡山県畜産共進会

令和5年10月15日、全農岡山県本部総合家畜市場で開催されました。県内各地から肉用種々牛の部50頭、乳用種牛の部71頭が出品されました。

肉用種々牛の部

◎グランドチャンピオン	ひめこしだわ83	(有)哲多和牛牧場	(哲多)
◎若雌区の1	優等賞3席	ゆりふくひめ3	大森 進 (新見)
	1等賞1席	まさみ	上田 稔 (哲西)
◎若雌区の2	優等賞首席	ふみよ1の7	小川 軍紀 (新見)
	優等賞2席	いくら148	JA晴れの国岡山井倉牧場 (新見)
	1等賞4席	さくらただたま	西村 佳明 (哲多)
◎若雌区の3	優等賞首席	ひめこしだわ83	(有)哲多和牛牧場 (哲多)
	1等賞3席	はんえい83	小川 武昭 (哲西)
◎若雌区の4	優等賞首席	かすみ2	有藤 剛 (哲多)
	優等賞4席	むねふく8	宗長 堅吾 (新見)
	1等賞3席	いくら113	JA晴れの国岡山井倉牧場 (新見)
◎経産牛の区	優等賞4席	45たまかつにし	西村 佳明 (哲多)
	1等賞2席	しげはくほう	JA晴れの国岡山井倉牧場 (新見)

### (4) 第62回 岡山県枝肉共進会

令和5年12月7日、岡山県営食肉地方卸売市場で開催されました。県内各地から和牛70点、肉豚30セットが出品されました。

◎和牛去勢の部	最優秀賞7席	JA晴れの国岡山千屋肥育センター	(千屋)
◎和牛雌の部	最優秀賞3席	(有)哲多和牛牧場	(哲多)
	最優秀賞4席	峠田 一也	(千屋)
◎肉豚の部	最優秀賞首席	岡山JA畜産(株)吉備農場	(哲多)
	最優秀賞3席	岡山JA畜産(株)荒戸山SPF農場	(哲多)
	最優秀賞5席	岡山JA畜産(株)吉備農場	(哲多)
	最優秀賞6席	岡山JA畜産(株)荒戸山SPF農場	(哲多)

## (5) 令和5年度 岡山県花き共進会

令和5年7月28日に岡山県農林水産総合センターで開催され、119点の出品がありました。JA晴れの国岡山新見花卉部会からは17点の出品がありました。

◎優秀賞	岡山県農業共済組合組合長賞 りんどう「しなの2号」	山本 誠 (哲多)
◎奨励賞	岡山県花き生産協会会長賞 りんどう「しなの2号」	奥山 亮 (哲多)
	りんどう「ホワイトベルセト」	竹本 元則 (大佐)
	りんどう「おかやま夢りんどう早生2号」	藤野 芳和 (新見)
	りんどう「おかやま夢りんどう早生2号」	田邊 薫明 (神郷)
	スプレーギク「セイパフィー」	谷村 悦子 (新見)

## (6) 令和5年度 新見市花卉共進会

令和5年8月1日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、23点(りんどう、トルコギキョウ、きく)の出品がありました。

◎最優秀賞	新見市長賞 りんどう「しなの2号」	仲田 登 (新見)
◎優秀賞	備中県民局長賞 りんどう「パステルベル」	小田 功 (哲西)
	備中県民局農林水産事業部長賞 りんどう「おかやま夢りんどう早生2号」	田邊 薫明 (神郷)
	岡山県農業協同組合中央会長賞 りんどう「ホワイトベル」(農)ファームやだたに鯉が窪	(哲西)
	全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞 りんどう「しなの2号」	三好 充 (哲西)
	りんどう「おかやま夢りんどう中生3号」	藤野 芳和 (新見)

### (7) 令和5年度 岡山県シャインマスカット、マスカット・オブ・アレキサンドリア共進会

令和5年7月26日、9月1日、10月13日に作型に合わせて開催され、シャインマスカット161点、マスカット・オブ・アレキサンドリア15点の出品がありました。JA晴れの国岡山阿新ぶどう部会からはシャインマスカット19点の出品がありました。

#### 【シャインマスカットの部】

◎うまいくだものづくり推進本部長賞 奨励賞 長濱 健一 (草間)

### (8) 令和5年度 新見市ピオーネ共励会

令和5年9月26日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、36点の出品がありました。平均果粒重は19.2g(最高24.1g)、平均糖度は17.5度(最高18.8度)でした。

◎最優秀賞 岡山県知事賞 加藤 伸夫 (豊永)  
◎優秀賞 新見市長賞 長嶋 好伸 (豊永)  
岡山県備中県民局農林水産事業部長賞 吉岡 尊司 (豊永)  
岡山県農業協同組合中央会長賞 古川 大輔 (草間)  
全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞 植田 正二 (豊永)  
岡山県農業共済組合長賞 野田山 裕一(草間)

### (9) 令和5年度 新見市桃共励会

令和5年7月25日にJA晴れの国岡山Aコープあしん店生活センターホールで開催され、20点の出品がありました。平均糖度は12.1度、最高糖度は16.9度で、食味は全体的に良好でした。

◎最優秀賞 新見市長賞 小林 寛 (草間)  
◎優秀賞 岡山県備中県民局長賞 清本 敬二 (草間)  
岡山県備中県民局農林水産事業部長賞 佐藤 勲 (草間)  
岡山県農業協同組合中央会長賞 平川 正史 (草間)  
全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞 宮坂 要治 (草間)

# 新見の主な農畜産物



ホームページ  
QRコード



Facebook  
QRコード

岡山県備中県民局農林水産事業部  
新見農業普及指導センター

〒718-0003 岡山県新見市高尾2400  
担い手・農産班 TEL(0867)72-9177  
園芸班 TEL(0867)72-9179  
FAX(0867)72-0495

e-mail:niimi-fukyu@pref.okayama.lg.jp

ホームページ :

Facebook :